

1.診療科紹介（専攻医・後期研修医向け）

項目	内容
① 診療科名	腎臓内科
② 診療科の特徴	CKD 管理 シヤント手術 透析導入 急性腎障害管理 維持透析患者合併症入院の際の維持透析
③ 診療科のモットー	お互い助け合える、働き甲斐のある職場がいいですね
④ 診療内容・実績 (直近1年間)	透析導入 40 件、血漿交換 74 回、血液ろ過透析 100回、腎生検 32 件、内 シヤント手術 75 件
⑤ 診療体制 (2019年7月時点)	常勤スタッフ5名+後期研修医3名~4名(腎臓専門医4名・うち腎臓指導医 3名、透析専門医4名・うち透析指導医1名)
⑥ 診療科カンファレンス	病棟患者カンファ1回/w 透析患者カンファ1回/w 腎病理カンファ適宜 腎臓膠原病合同カンファ1回/w
⑦ 経験できる疾患	慢性腎障害、ネフローゼ症候群、慢性糸球体腎炎、急速進行性糸球体腎炎、急 性腎障害
⑧ 経験できる技術・技能	内シヤント手術・シヤント PTAなどバスキュラーアクセス管理全般、腎生検、 血液・腹膜透析管理
⑨ 学会について	日本腎臓学会 日本透析医学会
⑩ その他	透析ベッド6床で月水金で最大12名同時透析。腎代替療法について適切に 説明を行い、腎移植は連携施設に紹介しています。腹膜透析患者のフォロー も行っています。

2.専門研修プログラムに準拠しない形での採用の場合

項目	内容
① 取得可能な専門医	腎臓専門医 透析専門医
② その他	

3.指導責任者より専攻医・後期研修医へメッセージ

当院腎臓内科では、将来腎臓内科を志望する、やる気と責任感のある専攻医、後期研修医を絶賛募集中です。腎臓内科の業務内容は、男女問わず業務の面白さや働きやすさを感じる事ができ、将来的なワークライフバランスの柔軟性などから、近年志望者が増加しております。

腎臓内科に興味を持っている専攻医、後期研修医の方、まずは私たちと一緒に働いてみませんか？比較的穏やかな人種の上級医が、未来ある先生方の成長をサポートします。

名古屋医療センター腎臓内科 後期研修のご紹介

腎臓内科を専攻したい方はもちろん、専攻を迷っている方、他診療科の専攻を考えている方にも、当院の腎臓内科研修はきっと役に立つと思います。



2021年 カンファレンス風景
腎臓内科スタッフと前期・後期研修医、専修医

腎臓内科で経験する症例は、全身管理を要する事も多く、他診療科の専攻を考えている場合でも、将来実践的に役立つ知識、技術を身に付けられます。

どの診療科の患者でも、電解質異常、尿異常、腎機能低下を来す事があります。身体所見や各種データに対して、適切な評価を行って、病態に合った輸液などの治療計画を立てていくことを学びます。

緊急透析や透析導入期、維持透析患者の合併症入院などを経験し、透析の適応、除水量、透析時間、ドライウェイトの考え方、CKD-MBD、腎性貧血管理、透析カテーテル挿入やシャント作成など、実践的な透析治療が学べます。

腹膜透析診察、腎生検や血漿交換などを経験でき、将来、実際の検査や治療を想像しながら、説明できるようになります。

薬剤投与において、腎機能低下に合わせて用量調整を行う機会が多いので、注意が必要な薬剤の知識が増えます。

腎内新患外来(週1回程度)(再診外来枠あり)
入院担当 複数名
透析担当 複数名
腎内コンサルト患者診察
夜間休日待機当番 週1~2回(必要時バックアップあり)

教育体制(指導医に気軽に相談してください。複数の指導医が、入院/透析患者について全体的に把握するようにしています。)

当直明け代休制度あり
夏休み5日間程度、冬休み3日間程度(土日祝日以外)取得目標

腎臓内科を専攻される方には、
専門技術を身につけられるよう指導します。

まずは、お気軽に見学にお越し下さい！



2018年 透析医学会の夜
神戸港ディナークルーズ船内

内シャント手術手技(術者)
血管拡張術(PTA)手技(術者)
腎生検手技(術者)
腎病理アセスメント
血液透析管理
腹膜透析管理(外来、入院管理)
腎臓内科患者外来管理
腎臓専門医取得(当院の経験症例が有効)
透析専門医取得(当院の経験症例が有効)



2020年 医長のGoToトラベル
熊本 阿蘇ツーリング